

ナノ形状測定法による球面ミラー3次元測定

大阪大学大学院 工学研究科 氏名 白地 央樹

目的 レンズやミラーといった光学素子を高精度(繰返し性 : 1 nm以下、不確かさ : 10 nm以下)で測定すること。

内容 曲率半径1000 mmの球面ミラーの繰返し性を向上させるために様々な工夫を行った。

結果 測定中の環境変化を制御する工夫を施し、これまで数nm程度だった測定繰返し性をサブnmまで向上させた。

利用した計算機
ノード時間
使用メモリ
ベクトル化率
並列化

SX-ACE
272 時間

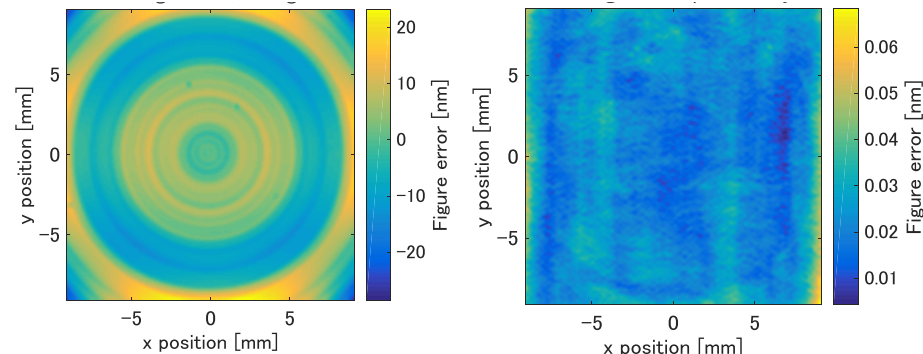


図1 曲率半径1000 mm球面ミラー測定結果